



佐渡市

社協だより

第103号

平成27年
8月25日発行



❖目 次

- | | | | |
|------|-------------------------|----|----------------------|
| P2～3 | 特集：佐渡市地域包括支援センター | P7 | 寄付のお礼・クロスワードパズル |
| P4 | どんどんボランチャ | P8 | 輝く島の未年さん |
| P5 | いきいきつうしん・
今月のクローズアップ | | デイからこんにちは
表紙写真の紹介 |
| P6 | 情報掲示板 | | |

編集・発行

社会福祉法人 **佐渡市社会福祉協議会**

佐渡市畠野甲533番地 TEL 0259-81-1155 FAX 0259-81-1156
<http://care-net.biz/15/sado-shakyo/>

気づき、寄り添い、ともに暮らす

～佐渡市地域包括支援センター～

「地域包括支援センター」をご存知ですか？「高齢者の総合相談窓口」として全国の各区市町村に設置されていて、佐渡市には4つのセンターがあり、主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師が必ず所属しています。

地域包括支援センターでは、高齢者の介護や福祉、生活に関する幅広い相談に応じるほか、要支援認定を受けた方のケアプラン作成など、さまざまな業務を行なっていますが、今回の特集では実際に起きたお話をもとに、業務のひとつである「高齢者虐待への対応」についてお伝えします。

とき子さん（仮名・83歳）は12年前にご主人を亡くし、息子の一郎さん（仮名・55歳）と二人で暮らしています。認知症を患ってからはデイサービス（日帰り介護）を利用しながら自宅で生活していましたが、半年前に玄関先で転んだ際に骨折てしまい、それをきっかけに寝たきりの生活になってしまいました。

ある日デイサービスセンターの職員がお迎えに行くと、とき子さんの顔が腫れていることに気付きました。一郎さんに声をかけてみましたが「おら知らんちゃ。自分でどこかにぶつけたんだろうさ。」と。しかし、その後も同じようなことがあり、その頃からとき子さんは口数が減り、笑顔が見られなくなっていました。

「そういえば最近、お迎えに行くと今までにはなかった食べこぼしの跡が服に残っていたり、オムツを長時間替えていないようなことがあったりして気になっていたのよね。」と話す職員もいたため、心配したデイサービスセンターの所長は、とき子さんの担当ケアマネジャーに連絡。話を聞いたケアマネジャーは、地域包括支援センターへ相談することにしました。

このような場合、とき子さんはもちろんですが、ひとりで介護を担っている一郎さんも心配です。体調を崩されているのではないだろうか、何か困ったことが起きているのではないだろうか…。そこで、相談を受けた地域包括支援センターの職員は、とき子さんのケアマネジャーと一緒に一郎さんに会いに行くことにしました。

ご自宅に伺うと、一郎さんの目の下にはクマがあり、疲れきった表情をしていました。

「母さんは最近、昼も夜も関係なく『腹が減った』つて言うから、おれは夜も眠れんだ。だから朝つらくて、デイサービスの迎えまでにオムツが替えられねえんだよ。言ふことも聞かねえし、もうイライラして…。叩くつもりなんてねえかったんだけど…。もうおれは面倒みれん。嫌になつてしまふた。どこにでも連れて行ってくれえさ。」

そう話した一郎さんはとても辛そうで、最近は地域行事にも参加されておらず、相談する相手もいない様子でした。

残念ながら、一郎さんの行為は“虐待”とみなされるものです。介護者からの虐待は無自覚のうちに行われることが多く、介護者自身も辛い

気持ちを抱えていることがほとんどで、介護者の“SOS”とも言えます。

話を聞かせてもらうと、一郎さんが先の見えない介護で身体的・精神的に疲れていることが感じられました。そこで地域包括支援センターの職員は、とき子さんの担当ケアマネジャーと相談し、一郎さんの介護負担が大きいこと、それによって極度のストレスがかかっていることが今回の事態を招いたのではないのかと考え、その軽減方法を検討することにしました。

地域包括支援センターでは、高齢者の方だけでなく、介護をしている方の悩みなどもお聞きして、介護する方・される方の両方が安心して暮らせる方法を一緒に考えます。

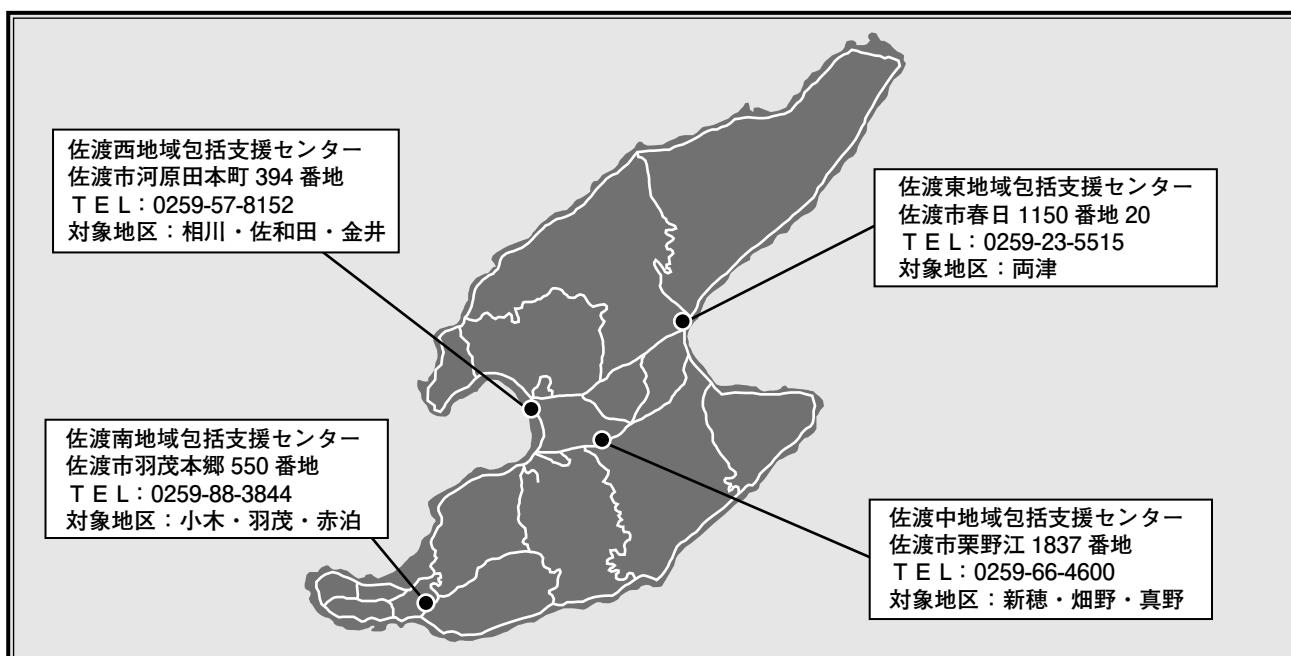
後日改めて一郎さん宅へ行き、介護負担やストレスを減らすために、とき子さんのデイサービスの利用回数を増やしたり、新たにショートステイ（介護施設への短期入所）を利用したりすることを提案しました。また、一郎さんに認知症の症状や対応の仕方について説明し、介護者向けの講習会やリフレッシュ事業の紹介を行ったところ、少しずつ前向きに考え

て参加されるようになりました。

その後、とき子さんに顔の腫れなどがみられることなく、デイサービスやショートステイでも楽しそうに過ごされるようになりました。一郎さんも「辛かったとは言うても、母さんには悪いことをしてしまった。おれと同じように介護している人と話してみたら、ちっと気が楽になったっちゃ。」と話され、徐々に地域行事にも参加されるなど、気持ちの変化がみられました。

今回のお話ではデイサービスセンターの職員が利用者の異変に気づきましたが、地域の方がお互いに関心をもつことで見えてくるものがあります。聞き慣れない大きな音や声、ご近所の方の様子などで「あれ?」と思うことがありましたら、地域包括支援センターへ教えてください。そのちょっとした“気づき”が早期の対応につながり、大事に至らずに済むことができます。

地域包括支援センターは、これからも高齢者やその家族の人権・健康を守るために、ともに悩み、ともに考え、活動していきます。デイサービスセンターやヘルパー、ケアマネジャー、民生委員、地域住民の方々など、身近に接しておられる方からの相談もお受けしていますので、皆さまのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。



どんどん★ボランチャ

いきいき活動するボランティアさん=ボランチャをどんどん紹介するコーナーです。

ボランチャとは…

ボランはボランティアとサッカーのつなぎ役であるボランチから、ちやは沖縄で○○の人という意味のちゅを佐渡らしくもじりました。島内のボランティアさんのお名前として考えました。

松ヶ崎地域 盛り上げ隊!!

松ヶ崎地域福祉会



松ヶ崎地域福祉会は、地域を盛り上げるために活動しています。

地域の方々の協力を得ながら、健康教室やふれあい昼食会、地元芸能を楽しむ会などを開催しています。

ふれあい昼食会では、地域の高齢者の方々を招待し皆で昼食を食べます。また、地域の子供たちにも来てもらって交流会を行い、1日楽しんでもらっています。

その他にも、地域の方々による手作りの芸能を楽しむなど、地域とのふれあい、つながりを大切にしながら活動しています。(会長 本間 勇作)

壊れたおもちゃを治療します!!

おもちゃ病院さど



「おもちゃ病院さど」は、メーカー・販売店保証期限切れの壊れたおもちゃを、原則無料で治療(修理)するボランティアグループです。おもちゃの治療を通して、こども達に「物を大切にする心」を育み、また、おもちゃドクターの知識・技術を活かし、治った時の喜びと一緒に感じあえる、それがおもちゃ病院です。

きっかけは、佐渡市社協ボランティアセンター開催の「おもちゃドクター養成講座」に参加し、「佐渡市にも、おもちゃを治療するボランティアグループを…」との要望に応え、結成しました。現在16名で活動しています。

活動日および場所は、

- 定期開院：毎月第3土曜日(午前中)、金井コミュニティセンター1階会議室
- 臨時開院：佐渡市各地区の社協支所が開催する
社協まつり等に出張治療

年間約20回の開院治療及びその場で治療困難なおもちゃは、各担当ドクターによる入院治療を行っています。

活動に興味ある方の参加を募集しています。

(院長 本間 雅裕 090-1620-8684)

どうぞ、福祉教育事業 「出前塾」を活用ください!

車イス体験や高齢者疑似体験を通して、子どもたちの福祉やボランティアの心を育むことを目的としています。



2学期からの総合の授業やPTA活動にいかがですか?

詳細はボランティアセンター(Tel 81-1155)まで。





島内各地で活動している「いきいきサロン」や「地域の茶の間」の皆さんを紹介します。

「小泊・亀脇はつらつ教室」(羽茂地区)

★開催日 毎月第3水曜日 ★会場 小泊集落開発センター

★時 間 午後1時30分～3時00分

★参加費 無料

★参加状況

毎回10～15名程度の参加があり、男女ともに参加しています。軽い体操や、社協から借りたレクリエーション用具でゲームをしたり、頭の体操をしたりと、スタッフが考え、スタッフ自身も楽しめる集まりにしています。

★うちのイチ押し!「小泊・亀脇カルタ作り」

小泊・亀脇カルタとは…小泊・亀脇地域ならではの言葉と絵で作るカルタのことです。

今年から取り組んでおり、参加者とスタッフみんなで、試行錯誤しながら作っています。今は考えた言葉を選定しているところで、これから絵札を作る予定です。まだ完成していませんが、作ったカルタで遊ぶことを今から楽しみにしています。



今月の クローズアップ Close Up

福祉関係の団体を紹介します



社会福祉法人 佐渡福祉会

あんずの家

あんずの家は主に療育手帳及び身体障害者手帳を持っている方で、就労を希望する方、生産活動への参加や訓練を続けたい方に対して支援を行う障害福祉サービス事業所です。事業所では就労訓練の一つとして、不用となった小型電子機器を解体し、基板に含まれる金や銀などの金属を抽出・分別する作業を行っています。ゴミの減量化に繋がりますし、また利用者さんの賃金にもなります。就労に向けた訓練として一生懸命作業しています。職場やご家庭で不用になった小型家電品、特に小型電子機器がありましたら是非ご寄附をお願いします。

社会福祉法人 佐渡福祉会 あんずの家

佐渡市両津湊343番地46 電話：0259-23-3303

メールアドレス：anzunoie@mist.ocn.ne.jp

情報掲示板

第12回 佐渡市社会福祉大会



撮影・鶴崎燃

◆テーマ

「気づきを大切にしよう～支え合う地域づくりのために～」

◆日 時：10月7日(水) 13:00～16:15

◆場 所：アミューズメント佐渡

◆日 程：13:00～ 式典
14:10～ 記念講演

「嬉しいことばが地域を変える」

講師 村上 信夫 さん

(元NHKエグゼクティブアナウンサー)

15:40～ アトラクション 「笑いヨガ」

講師 日本笑いヨガ協会

代表 高田 佳子 さん

◇今年は上記の日程で開催します。どなたでもご参加いただけますので、ぜひご来場ください。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりのために、一人ひとりが出来ることを共に考える機会にしましょう。

ファミリーサポートセンター会員募集！

ファミサポは、子育てをお手伝いしてほしい方とお手伝いできる方が会員となって地域で助け合う、有償ボランティアのネットワークです。保育園の迎え・預かり、学童保育の迎え・習い事の送りなど、お手伝いしてほしい方・してみたい方、お気軽にお問い合わせください。

◆問合せ：佐渡市ファミリーサポートセンター
TEL:81-1155（佐渡市社協本所内、担当：本間）

常勤臨時職員大募集！

あなたの資格を生かして、私たちと一緒に社協で働きませんか？まずは、お近くの社協各支所、社協本所へお電話ください。お待ちしています！

◆募集職種と必要な資格

①看護師：看護師、准看護師

②訪問介護員：介護福祉士もしくは介護職員初任者研修修了者（または同等以上の資格）および普通運転免許

◆待遇：通勤手当、退職金制度、賞与、各種保険加入

◆問合せ：佐渡市社協総務課

TEL:81-1155（担当：中川、羽二生）

9月開催 心配ごと相談

生活の様々な心配ごとや困りごとを気軽に相談できる窓口、「心配ごと相談」を開催しています。

お住まいの地区以外での相談もできますので、ぜひご利用ください。秘密は守られます。

地区	相 談 日	時 間	会 場
両 津	2日(水)、13日(日)、 23日(水祝)	13:00～ 16:00	両津福祉センター しゃくなげ
	7日(月)	18:00～ 20:00	
相 川	3日(木)、10日(木)、 16日(水)、22日(火休)	9:00～ 12:00	ワイドブルー あいかわ
金 井	10日(木)	13:00～ 16:00	金井コミュニティ センター
畠 野	25日(金)	9:00～ 12:00	畠野農村環境改善 センター
小 木	2日(水)	13:30～ 16:30	小木多目的集会施設 あゆす会館
赤 泊	16日(水)		
			赤泊福祉保健センター やすらぎ

★未年の皆さんのおすすめの趣味や楽しみ、健康の秘訣を教えます★

輝く島のひつじ年さん



未年の年男・年女の紹介です!
自薦・他薦問わず情報お待ちして
おります!!



たかの てるひろ (新穂地区 新穂大野)
高野 映洋さん 昭和6年生まれ

稻作は今年から預けましたが、庭木、花等趣味があるので、忙しく過ごしています。果樹もいろいろなものを作っているので、実がなるのが楽しみです。多くの友だちにかこまれて、日々おおらかな気持ちで楽しく過ごすのが元気の秘訣のようです。

とのうち かつみ (赤泊地区 赤泊)
外内 克己さん 昭和6年生まれ

野菜作りや、花などの植物を育てることが日課です。好き嫌いをしないで腹八分目を心がけています。元気を保つこととして1日2~3km歩くことを目標に頑張っています。これを日々続けることが大事だと思っています。また、笑顔を絶やさないように暮らしています。



デイから
こんにちは



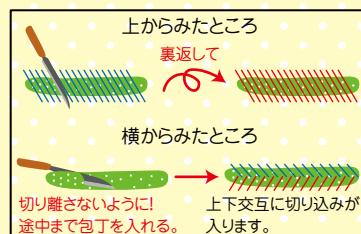
中華きゅうり

【栄養士より一言】 「しゃばら」 「蛇腹切り」は、きゅうりやたくあん、りんごなどの硬いものの最初のひと噛み、ふた噛みを助けてくれる切り方です。蛇の腹の模様に似ていることから「蛇腹切り」と呼ばれています。

【材料】(1人前)
きゅうり … 50g
砂糖 …… 2g
しょう油 … 3g
酢 ……… 2g
ごま油 …… 0.5g

【作り方】

- ①きゅうりは所々皮をむき、蛇腹切りにする。
- ②①のきゅうりを1.5cmの長さに切って塩水につけ、しんなりしたらザルにあげて水けを切る。(デイサービスセンターでは、衛生管理上、熱湯で茹でてあげています。)
- ③鍋に砂糖・しょう油・酢・ごま油を合わせて火にかけ、ひと煮立ちしたら火からおろしておく。
- ④③の調味液にきゅうりを漬け込み、冷蔵庫で冷やしたら出来上がり。



細かい切り込みを2/3の深さまで入れ、裏返して同じように切り込みを入れる。

表紙の紹介

7月12日(日)、ビューさわたを会場に「第10回さわた社協まつり」を開催しました。準備作業から多くのボランティアさんにご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

当日はよい天気に恵まれ、大勢の皆さまがご来場くださいました。子ども遊び体験や芸能など、さまざまな催し物もあり、毎年恒例のお楽しみ抽選会で大変盛り上がりました。

